

# 文化産業科学学会 大会

## 文化産業・地域経済活性サミット

2016, 11, 27(日) 13:00~17:00

### ●文化産業科学学会 文化産業・地域経済活性サミットとは何か

先進国である日本では、近年、様々な産業の「高付加価値化」に向けた政策や取り組みが盛んになっています。高付加価値化に関連した国策の例としては、①グローバル戦略、②地方創生（地域経済の活性化、及び地域ブランド化等の取り組み）、③COOL JAPAN（日本の文化関連産業、及び日本の強みである産業の国際発信、展開）、④VISIT JAPAN（訪日外国人の増加戦略）、が挙げられます。これらの政策は、グローバル経済の現代における「高付加価値産業、及び高付加価値化のキーコンセプト」であると言えます。

しかしながら、上記の4つの国策は、現状としては円滑に推進できているとは言い難い状況です。中でも、②地方創生が目指しているような「地域経済の活性化やブランド化に関する取り組み」には、③COOL JAPANの文化関連産業や、④VISIT JAPANの観光産業との連動が欠かせない要素であるため、4つの国策の中でも、難易度が高い政策と言えます。

本学会は、文化産業科学という融合科学の新しい学問領域です。文化産業科学のテーマを、わかりやすく一言でまとめると、『価値創りの科学』です。本分野は、価値を創造するために、様々な融合科学的な知見やアプローチを用います。そして、理論のみならず、方法論、実践、教育といった幅広い社会実践を重視している点に、文化産業科学の独創性があります。

『文化産業・地域経済活性サミット』は、文化産業科学の『価値創りの科学』の知見やアプローチを、国策にも該当する「文化産業と地域経済活性」に焦点を置いたサミットです。

本サミットでは、産官学の幅広い人を対象にしています。よって、学術研究者のような専門家のみを対象としてはおらず、広く文化関連産業の活性化、地域経済活性化に関係したり、興味関心が強かったりする「産官学の人」を対象にしています。

本サミットは、年に4回（春夏秋冬）行います。毎回、切り口を変えて、文化産業・地域経済活性化に寄与できるような内容を提言していきます。

### ●文化産業科学学会の趣旨

文化産業科学学会は、文化産業を科学し、文化の振興や発展、国内外への展開を図ることを目的とした学術研究を行う、広範な分野に関わる学会です。

『文化』と聞くと、幅広い意味合いが想起できますが、①文化・芸術と称されるクラフトやアート、②国民性、民族性、思考習慣や価値観、世界観、③地域文化、④宗教や風俗、慣習、⑤商習慣や法律、制度、⑥道徳や倫理体系、⑦ファッションや食文化、観光などの文化的産業などに大別できるとともに、文学や民俗学あるいは農学を始め、法学や医学そして工学など多くの学問分野に関わるのではないかと思います。

日本の文化や芸術関連分野は、潜在的価値が高く、世界的に見てもオリジナリティーがあるとされています。一方で、日本の文化・芸術は、なかなか高付加価値化やブランド化による経済的効果につなげることができていないという課題があります。本学会では、このような課題を、分野内の観念論や経験則、慣習で対応するのではなく、多分野の知見を活用して融合科学的にアプローチすることで、理論研究だけにとどまらず、理論の実践研究を行い、精力的に実現していければと考えております。

●文化産業・地域経済活性サミット スケジュール

・13:00~13:05 大会開会のあいさつ

宮林 茂幸 (副会長、東京農業大学 教授)  
『本学会の背景、日本の国策、日本の課題、21世紀の世界経済』

・13:05~13:15

外山 京太郎 (副会長、川場村長)  
『文化産業科学の産官学連携による社会実践 川場村の“世界”に向けた地域おこし』

・13:15~13:55 【基調講演】

石山 徹 (学会長、東京農業大学 客員教授、(一社)文化産業科学研究所 代表理事)  
『21世紀の“価値創りの科学” 文化産業科学の展開』

・13:55~15:05 【地域経済活性の部のシンポジウム】

『地方創生、地域ブランド化、地域経済活性に不可欠な総合科学的アプローチ』

- ・コーディネーター：田中彰夫 (事務局長、産業能率大学 教授)
- ・宮林茂幸 (副会長、東京農業大学 教授)
- ・吉田芳春 (副会長、北見工業大学 客員教授、吉田国際特許事務所 所長弁理士)
- ・石山 徹 (学会長、東京農業大学 客員教授、(一社)文化産業科学研究所 代表理事)

休憩 15分

・15:20~16:00 【特別講演】

徳岡邦夫 (名誉理事、東京農業大学 客員教授、京都吉兆 総料理長)  
『世界に通用する日本文化起源の地域ブランド化戦略とグローバルブランド戦略』

・16:00~17:00 【文化産業の部のシンポジウム】

『日本の文化を産業化し、科学することの意義・・・COOL JAPAN、VISIT JAPAN』

- ・コーディネーター：田中 彰夫 (事務局長、産業能率大学 教授)
- ・徳岡邦夫 (名誉理事、東京農業大学 客員教授、京都吉兆 総料理長)
- ・石山 徹 (学会長、東京農業大学 客員教授、(一社)文化産業科学研究所 代表理事)

・17:00 閉会のあいさつ 竹内 康 副理事 (東京農業大学 教授)

『東京農業大学 地域創成科学科の設立と展望』

・18:00~ 会場を移して懇親会 (希望者のみ参加。別途料金)

●文化産業・地域経済活性サミット 日時

2016年11月27日(日) 13:00~17:00

●大会・サミット会場

東京農業大学 横井講堂  
〒156-8502 東京都世田谷区桜丘 1-1-1  
[http://www.nodai.ac.jp/access/map\\_s.html](http://www.nodai.ac.jp/access/map_s.html)



東京農業大学 横井講堂

●参加費

一般 2000円、学生 <sup>5</sup>無料  
(ただし、文化産業科学学会の『学会誌』を購入希望の方は、別途費用がかかります。)

**主催：(一社)文化産業科学学会**

運営：(一社)文化産業科学研究所、NPO法人 文化教育科学研究所、(一社)地域教育総合研究所、(一社)地域産業科学研究所、(一社)文化産業科学学会

後援：(大学)東京農業大学、産業能率大学

(自治体)世田谷区、川場村

(社団法人、NPO法人)

(一社)文化産業科学研究所、NPO法人 文化教育科学研究所

(一社)地域教育総合研究所、(一社)地域産業科学研究所

(民間企業)田園プラザ川場、世田谷ふるさと公社、京都吉兆